

「PTAの意見を聴く会」  
意見続出

# 子どもが不安になる改革を急ぐな

県教委がPTAを対象に「意見を聴く会」を開始。11月21日には、米原の文産会館と八日市の湖東信用金庫で、23日にはひこね燦ぱれすで開催。「統廃合を考える会」は、参加者に公正な資料を提供しようと、会場前でチラシを配布。また、彦根と八日市では、終了後「意見を聴く会」の参加者を対象に懇談会を開きました。

以下は、昨日(23日)の様子を、彦根西高の夏原さんが記録したものです。

## 席がある限り、申込が無くても参加可能

「PTA 2名」と限定しておこわれた県教委の説明会。受付の若い職員に「関心があるので来てくれども入れてくれないか」と言うと、「いいですよ」とすんなり。「高校教員なんだけど」といいながら名簿に所属と名前を書くと、横から別の職員が「今日は(対象が)PTAなので意見はちょっと(控えて欲しい)」と。事前申し込みが40人ほどだったようだが、私のような「飛び入り」まで含めて44名が参加。多くは、PTAの会長や役員をされている方々だった。

## PTA役員は「情報がない」と苛立ち不安

県教委作成の資料で30分間説明された後、質疑応答に1時間が予定されていた。ひっきりなしに意見がでて30分延長された。私のメモを見る限り14人が発言。賛成意見はゼロ。逐一紹介はできないが、一口で言うなら「統廃合の情報が父母に届いていない事に対する不安と苛立ち」、「これまでの県教委の、コトの進め方が不透明であることへの怒り」この2点に尽きる。印象的な発言のみ紹介する。

再編によるプラス情報だけでなく、マイナス情報も含めて事前に情報提供してから「意見を聴く会」をすべき。大人として恥ずかしくない教育行政をしてほしい。(彦根)  
統廃合案の策定は、今年度3月末までと受け止めていいのか。(彦根)

子どもが不安になるような改革を急いでやるのはなぜか。大人の都合で「大人の理想」の学校をつくるのはどうかと思う。協力しようも、理解しようもない。(甲良)

ここで言った意見がどれだけ反映されるのか。具体的にどの学校がなくなるのかが出てこないと思えば意見が言えない。(彦根)

6～8学級が適正規模と言うが、小さい方がよいのではないか。子どもの数が減ると言うが、この10年を見てもそんなに減らない。滋賀は社会増もある。財政難と言うが生徒一人当たりの教育費は全国最低レベルじゃないか。(愛知)



27日と28日の「意見を聴く会」へ積極的に参加しましょう。

参加者は予定の半分にもなっていません。

27日(土)10:00～11:30【甲賀】サントピア水口 共同福祉施設 教養文化室

15:00～16:30【高島】高島地域地場産業振興センター視聴覚室

28日(日)10:00～11:30【湖南】守山市民交流センター多目的ホール

14:00～15:30【大津】コラボしが2 1大会議室

県議会宛の請願署名(黄色)を一気に集めましょう(締め切り12/1)。

八幡養護学校が移転した跡地は放置されている。学校ををなくすことは地域社会への影響が大きい。(彦根)

こういう会は学校の先生も来てもらうべきだ

学校あつてのPTAだ。こういう会には学校の先生も来てもらうべきだ。(彦根)

3月に案が出たら何も言えないのではないか。欠席している学校のPTAに今日の結果を報告せよ。(彦根)

統廃合の今後のスケジュールを説明せよ。今日の議事録はもらえるのか。(多賀)

## 今日の会がアリバイに使われるのか

県教委は、最初の資料説明の域を出ない回答に終始。終了後、「さらに疑問がある人は懇談会に」と呼びかけたところ9人が参加し、1時間半の懇談。そこで出た不満と疑問を紹介します。

「今日の会が統廃合をすすめるアリバイに使われる。廃校が決まったとき『あなたはこの会に出てたのか』と追求されそう...」「湖北地域は動いているのに(反対運動)、この地域はいつまで寝ているんだ、と言われている。PTA連協として何かできないか考えたい」「県教委の再編はイコール統廃合と認識すべきだ」「伊香、愛知などの郡部の学校はなくならないかも知れないが、中心市街地が危ない...」。

## ストップ高校統廃合 速報第38号

2010/11/24 県立高校の統廃合を考える会

077-522-4965 FAX 077-522-4978

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)